

西暦 2020年5月20日

## これまでに末梢動脈疾患に対しステントグラフトの留置後に血栓閉塞をきたした患者さんへ 【過去の治療・検査データの調査研究への使用のお願い】

松山赤十字病院血管外科では「複腿膝窩動脈病変を有する閉塞性動脈硬化症患者に対するステントグラフト留置後血栓性閉塞に対する治療法に関する多施設・後ろ向き研究」という多施設共同研究を行っております。この研究は、【ステントグラフト血栓閉塞に対する治療、経過】を調べることを主な目的としています。

そのため、下記調査機関に大腿膝窩動脈にステントグラフト留置され、その後血栓閉塞をきたした患者さんのカルテ等の治療データを使用させていただきます。

以下の内容を確認してください。

○この調査研究は松山赤十字病院医療倫理委員会で審査され、病院長の承認を受けて行われます。

研究期間 : 西暦 承認後 ~ 西暦 2020年12月31日まで

対象調査期間 : 西暦 2013年1月1日 ~ 西暦 2019年12月31日まで

○今回の調査研究の対象はこれまでに大腿膝窩動脈にステントグラフト留置され、その後血栓閉塞をきたした患者さんのカルテ、CT、血管造影です。

○過去のデータもしくは治療終了後のデータを使用する研究であり、新たな検査や費用が生じることはなく、また、データを使用させていただいた患者さんへの謝礼等もありません。

○使用するデータは、個人が特定されないよう匿名化（非個人情報化）又は符号や番号を付することをを行い、個人情報に関連する事項全てを保護します。

○調査研究の成果は、学会や科学専門誌などの発表に使用される場合がありますが、名前など個人を特定するような情報が公表されることはなく、個人情報は守られます。

○調査研究の結果、特許権などの知的財産権が生じる可能性もございますが、データを使用させていただいた患者さんには帰属しません。

○この調査研究は、松山赤十字病院血管外科の研究費で行っており、特定の企業・団体等からの支援を受けて行われるものではなく、利益相反状態にはありません。

もし、今回のデータ使用について同意をいただけない場合には、いつでも構いませんので、お手数ですが下記の問い合わせ先まで連絡ください。

また、同意の有無が今後の治療などに影響することはありません。

### 【問い合わせ先】

松山赤十字病院 血管外科 部長

研究責任者：山岡 輝年

TEL：089-924-1111(代) FAX：089-922-6892(代)